

# 令和4年度 滋賀の医療福祉に関する県民意識調査（速報抜粋）

差し替え

一 家族介護経験の有無と困ったこと・不安に思うこと一

令和4年10月 滋賀県医療福祉推進課

## 調査の目的・内容および手法等

### ・調査目的

県民の医療福祉や在宅での介護・看取り等に関する幅広い分野の意識や意向を把握し、今後の医療福祉行政を推進するための基礎資料とすることを目的とする。

### ・調査時期

令和4年8月31日（水）～9月20日（火）

### ・調査対象

県内在住の満18歳以上の男女3,000人

### ・調査方法

選挙人名簿に基づく、県内7地域別 層化二段無作為抽出法により、郵送配布・回答

### ・回答状況

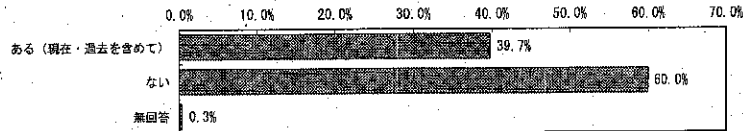
有効回答 1,556人（回答率51.9%）

※ 地域別の抽出数が異なるため、有効回収数に集計ウェイトを加重し補正した。調査結果は、この「規正標本数」 $n=2,992$ を基数として集計を行った

## (1) 介護経験の有無

- あなたは家族の介護を行った経験はありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

n=2,992

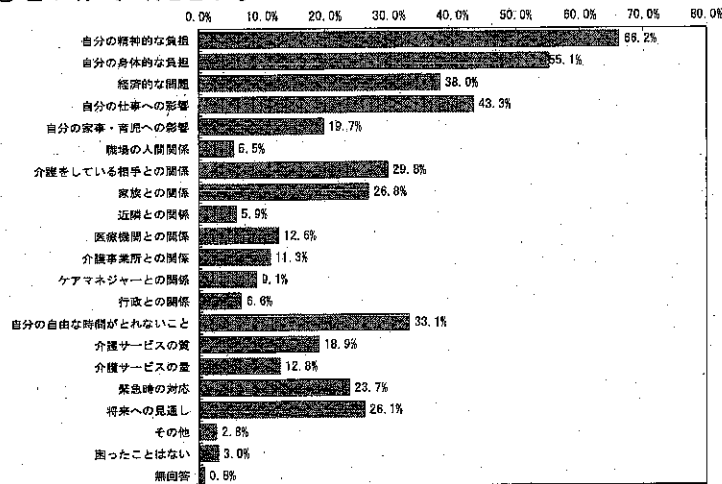


- 「ある」が4割、「ない」が6割となっています。

## (1-2) 介護について困ったこと

- (1)で「ある」とお答えの方におたずねします。介護について困ったことは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

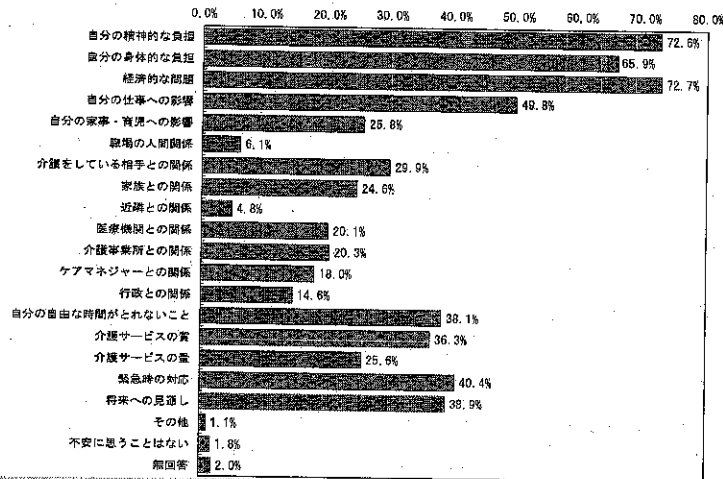
n=1,188



- 「自分の精神的な負担」が最多で66%、「自分の身体的な負担」（55%）、「自分の仕事への影響」（43%）の順で多くなっています。

### (1-3) 介護について不安に思うこと

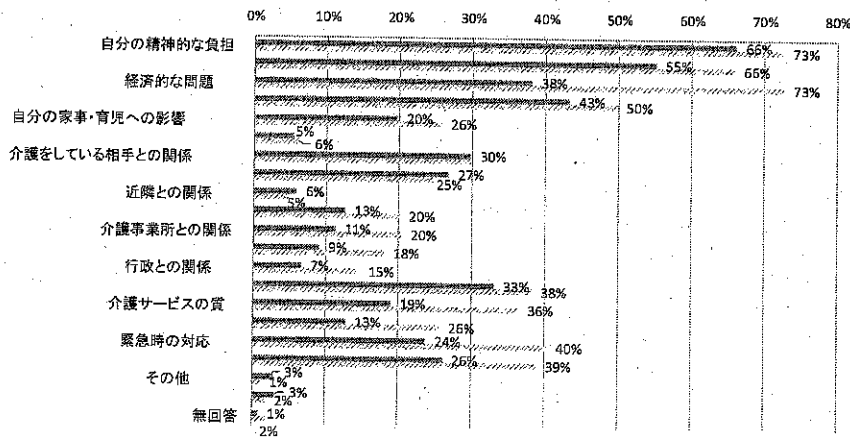
・(1)で「ない」とお答えの方におたずねします。介護について不安に思うことは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。



n=1,794

・「経済的な問題」が最多で73%、「自分の精神的な負担」(73%)、「自分の身体的な負担」(66%)の順で多くなっています。

### (1-4) 介護経験者の困りごとと未経験者の不安比較



■ある n=1,188  
□ない n=1,794

・介護経験の有無によって、困ったことと不安に思うこととの認識に差があるかという観点で見ると、特に「経済的な問題」や「介護サービスの質」、「介護サービスの量」、「緊急時の対応」といった項目については、「ない」人が不安に思うとする割合より、「ある」人が困ったとする割合の方が低くなっています。

